

研究班番号【 31 】
ディズニーとジブリのテーマ音楽解析

音楽班:小野 優華、善本 芽結、明石 日和

Abstract

The purpose of this study is revealing the differences between Disney songs and Ghibli songs, both of which have been loved for a long time until today. According to the study, it was found that Disney songs are generally luxurious, dazzling, and dramatic. They are often composed to reflect the emotions of the characters.

要約

本研究の目的は、現代まで長く愛され続けているディズニー楽曲、ジブリ楽曲の違いを明らかにすることである。調査によって、ディズニー楽曲は全体的に豪華できらびやかな、ドラマチックで想像を掻き立てるような広い音域の動きが多く、キャラクターの心情に合わせた曲を作っていること、対してジブリ楽曲では、シンプルで控えめなメロディが中心となり、どこか懐かしさのある、自然や故郷を連想させるような響きを多く使い、情景を表現していることがわかった。従って本研究では、ディズニーは「心情」、ジブリは「情景」を表した音楽であるということが結論付けられた。

1. はじめに

毎年多くの楽曲がリリースされたり、流行の音楽が出回っている中、ディズニー音楽、ジブリ音楽の人気は絶えず、誰もが知っている。また、ディズニーやジブリの音楽を、映画を飛び出して、実生活の中で聴いて楽しむ、という人もいるのではないだろうか。このように、ディズニーやジブリの音楽は、言わば流行歌としてのクオリティも確立しているといえる。現代も多くの人に愛され続け、歌われ続けている理由や、ディズニー音楽、ジブリ音楽の違いを知りたいと考え、研究にいたった。

2. 研究手法

「恋愛」「冒険」「家族愛・友情」の3観点に沿ったディズニー、ジブリ楽曲をそれぞれ1作品ずつ抜粋し、抜粋した楽曲は以下の通りである。

- | | | |
|----------|-----------|-------------------------------------------|
| 「恋愛」 | ディズニー作品より | ①「A Whole New World」(「アラジン」) |
| | ジブリ作品より | ②「カントリーロード」(「耳をすませば」) |
| 「冒険」 | ディズニー作品より | ③「どこまでも～How Far I'll Go～」
(「モアナと伝説の海」) |
| | ジブリ作品より | ④「いつも何度でも」(「千と千尋の神隠し」) |
| 「家族愛・友情」 | ディズニー作品より | ⑤「ありのままに」(「アナと雪の女王」) |
| | ジブリ作品より | ⑥「となりのトトロ」(となりのトトロ) |

計6曲

次に、抜粋した曲それぞれについての、曲の長さ、作られた年、調性、テンポ、和声進行の5つの項目について調査する。それぞれの特徴を探りながら、ディズニーとジブリの違いを明らかにする。

3. 結果

順に曲の長さ、作られた年、調性、テンポ、和声進行とする。

「恋愛」

- ・「A whole new world」

2:42 1993 Eメジャー モデラート

I → vi → IV → V進行が多い

・「カントリーロード」

4:26 1995 Aメジャー モデラート 典型的なカントリーミュージックの進行(I → V → vi → IV)

「冒険」

・「どこまでも~How Far I'll Go~」

2:35 2017 Fメジャー モデラート I → V → VI → IV進行が多い

・「いつも何度でも」

3:44 2001 Dメジャー アンダンテ

I → V → vi → IV

「家族愛・友情」

・「ありのまま」

3:46 2014 E♭メジャー 中盤で加速

歌い出し: i → VI → III → VII

コーラス: I → V → vi → IV

・「となりのトトロ」

4:12 1988 Cメジャー アレグロ I → IV → V → I の基本進行が中心

4. 考察

「恋愛」の二作品の違いは、音楽の規模や歌詞のテーマだと考える。「A whole new world」は映画のスケール感を伝える壮かさや豪華さ、キャラクターの細やかな心情を表現した音楽である一方、「カントリーロード」はシンプルでわかりやすく、口ずさみやすいフレーズで構成されており、キャラクターの心に寄り添っている。ジブリで唯一、作中で登場人物が歌う曲となった要因も関係していると考えられる。作られた年は近いが、相反する結果となった。両曲とも穏やかな歌い出しから、感情が徐々に高まっていく様子も見受けられた。

「冒険」の二作品の違いは、感情の方向性と音楽スタイルだと考える。「どこまでも~How Far I'll Go~」は冒険と希望が強く、ドラムやシンセサイザーも使用され、現代的で、冒険心を掻き立てられるような曲になっている。一方、「いつも何度でも」は静かな希望や再生を感じさせるような曲である。アンダンテでゆったりと聴くことができ、クラシック的な要素が強い。また、どちらもI → V → vi → IVのような覚えやすいコード進行が使われている。

「家族愛・友情」の二作品の違いは、テーマの規模だと考える。「ありのまま」は自己改革と開放を描く、キャラクターの心情や物語の展開を表した壮大なテーマがある。また、ミュージカルのような強いボーカルも特徴的である。対して「となりのトトロ」は日常的で牧歌的なテーマであり、

I → IV → V → I の基本進行を用いていることから、親しみやすさも感じられる。

また、両曲とも繰り返しを重視した歌詞やメロディ構造になっており、幅広い年代に受け入れられやすい。

5. 結論

ディズニーは「心情」、ジブリは「情景」を表現した音楽と言える。ディズニー楽曲は全体的に豪華できらびやかな、ドラマチックで想像を掻き立てるような広い音域の動きが多く、キャラクターの心情に合わせた曲を作っている。対してジブリ楽曲では、シンプルで控えめなメロディが中心となり、どこか懐かしさのある、自然や故郷を連想させるような響きを多く使い、情景を表現している。キャラクターが感じた「心情」を表現している曲がディズニー、キャラクターが目撃した「情景」を思い起こすような曲がジブリである。

参考文献ならびに参考Webページ

ディズニーのアニメーション映画に関する統計解析

<https://www.st.nanzan-u.ac.jp/info/gr-thesis/2017/matsuda/pdf/14ss056.pdf>